

国民に安心と余裕を生み、日本人の「夢」と「誇り」を取り戻す原動力とする日本に今不足しているのは「夢」、守らねばならないのが「誇り」との考え方から、国家の基本理念において重視すべき二つの観点を提示します。

夢が持てる日本へ

国が先んじて投資し、成長産業・子ども・教育・科学技術・地方・防災・エネルギーの七分野を戦略的に育て、賃金を上げ、**挑戦が報われる日本をつくります。**

生まれた環境に左右されず、**努力**が実り、地域が活力を取り戻し、一人ひとりが**未来**に希望を描ける日本を実現します。

積極財政 **子育て世代**

夢は制度で支える、誇りは政治が守る国が先に投資し、日本はもう一度前へ進む。

上原まさひろプロフィール

1979年1月30日、47歳。5歳の娘の父。
大学進学のため上京、サラリーマンとして全力で勤めるが、
東日本大震災をきっかけに地元での活動を志す。
2015年、地元起業。民生委員、町内会活動を通じて、地域課題に取り組む。
2019年4月の統一地方選にて多摩区選出の川崎市議として初当選。2023年4月、2選。2025年、
公募により衆議院選挙区支部長に決定。現在、川崎市幼稚園父母の会会長など、地域の役を多く担う。



上原まさひろ
公式ホームページ



なぜ今、 国家を再設計する 必要があるのか

日本が直面している最大の危機は、経済指標の悪化でも、人口減少そのものではありません。

「努力しても報われない」「挑戦すると損をする」「この国で未来を描けない」
そう感じる人が増えてしまったことです。私もその一人です。

政治の役割は、国民に我慢を強いることでも、市場にすべてを委ねることでもありません。

国が先に投資し、安心をつくり、挑戦を後押しし、成長を育てること。
それによって、夢持てる社会と、誇り持てる国家を同時に取り戻します。

夢と誇りが持てる日本を

自民党 公認
上原
まさひろ